

鹿児島県漁海況週報

平成25年2月21日発行(2月14日～2月20日)
 第2494報【旧暦:1月5日～1月11日/月齢3.8～9.8/潮汐:中潮～若潮】



鹿児島県水産技術開発センター
 〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
 TEL: 0993-27-9212, FAX: 0993-27-9218
 HP: <http://kagoshima.suigi.jp/>

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

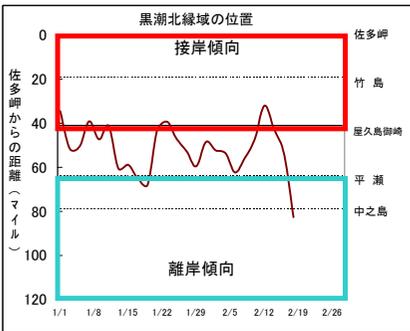
黒潮北縁域は、2月18日現在、中之島の南3.6マイル付近にあり、離岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月18日現在、69マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、笠利崎、与論で0.4～2.5℃昇温し、その他の海域で0.1～2.3℃降温した。
 平年比較では、黒潮流域、笠利崎で“著しく高め”、与論で“やや高め”、屋久島御崎で“平年並”、佐多岬で“著しく低め”、竹島で“かなり低め”、その他の海域で“やや低め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	23.3	+1.1	+1.4	著しく高め
鹿児島	15.3	-0.1	-0.9	やや低め
佐多岬	16.1	-1.5	-1.7	著しく低め
竹島	18.0	-2.3	-1.3	かなり低め
屋久島御崎	20.8	-0.8	+0.4	平年並
中之島	20.8	-1.0	-0.6	やや低め
笠利崎	22.7	+2.5	+1.8	著しく高め
与路島	20.4	-0.1	-0.5	やや低め
与論	21.6	+0.4	+0.5	やや高め
甌海峡	15.1	-	-1.1	やや低め

鹿児島～那覇定期客船観測は2/18～19
 串木野～甌定期客船観測は2/20

【漁況】

※時化のため、全般に低調な漁模様。

○定置網

甌島海域では、スルメイカ(600～700g)が200～240kg/日、フリ(10kg)が32尾/日、メジナ(600～700g)が50kg/日の入網。西薩南部海域では、サワ(0.8～1.0kg)が1日のみ4トン、フリ(4kg)が750～800尾/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、スルメイカ(300g)が1日のみ200kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でフリ(1～10kg)が450尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で48船がスルメイカ、チウオ、カマス主体に23トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でサワ、フリ、ニヘ類主体に4.1トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～4箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、5箱/隻・日の漁。種子島海域では、3～4箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを150～160箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを8～175箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2441報)				
						1日1統	前週 隻数	前週 漁獲量	前年同期 隻数	前年同期 漁獲量
旋網	阿久根	大	2	45	サハ類小80 ウルメイワシ6	22.4	6	70	8	243
		中	8	53	縄瀬 阿久根沖 甌東	6.7	10	93	10	161
	枕崎	大	10	195	内之浦沖 野間池沖 島間沖	19.5	4	52	3	328
		中	19	435	島間沖 立目崎沖 竹島 内之浦沖	22.9	14	313	11	489
	内之浦	中	1	8	内之浦沖	8.1	1	0.7	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	12	240		20.0	10	122	11	571	
	中	28	488		17.4	25	406	21	650	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	3	138	クサヤモロ小57 オアカムロ大23 クサヤモロ中小11	46.0	3	494	2	343	
棒受網	阿久根	34	61	阿久根沖 長島	1.8	43	57	28	30	
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	48	23	スルメイカ50 チウオ12 カマス10	0.5	51	33	54	14	
刺網	阿久根	大	1	289	カツオ中82 カツオ小9 カツオ大7	289.4	0	—	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	1	675	カツオ中64 カツオ小20 キハダ11	675.4	2	1,653	1	166	
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
カツオ竿釣・海外旋網	山川	海旋	1	271	カツオ小88 キハダ7	270.9	2	1,576	0	—

○パッチ網

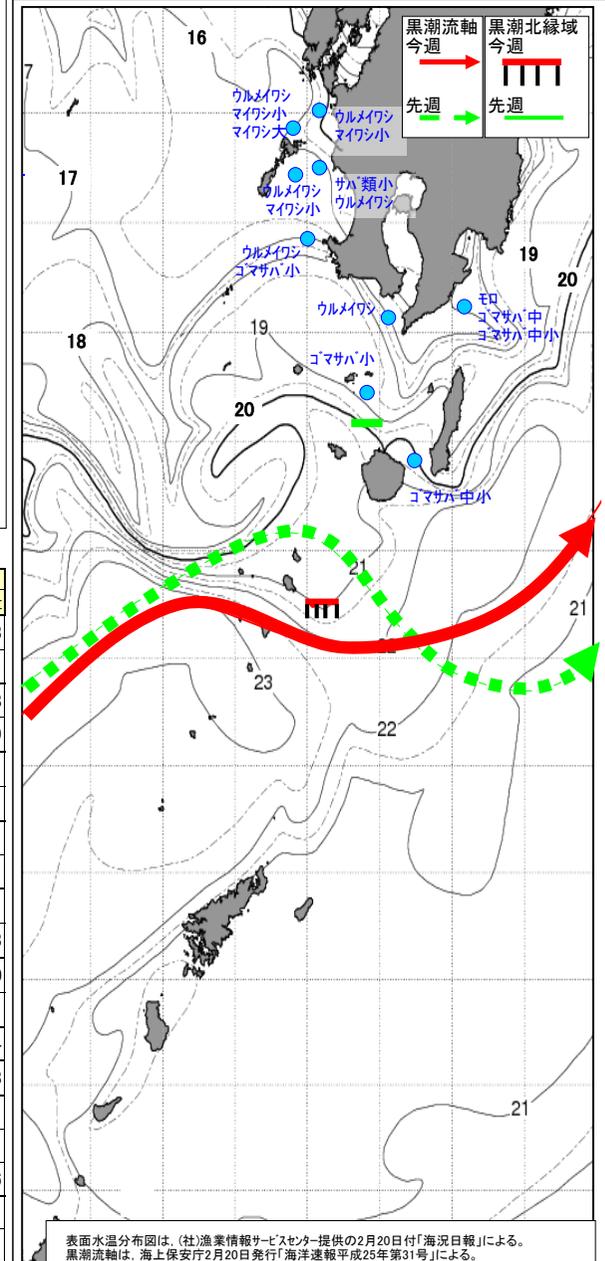
志布志湾海域では、シラスを製品で6.2トンの入札があった。

○フリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、4kgサイズを30尾/統・日、5～12kgサイズを10尾/統・日の漁。

○その他

甌島海域では、一本釣りでメジナ(600g)を50kg/隻・日、メダイ(4～7kg)を26kg/隻・日、ムツ(0.5～2.0kg)を10kg/隻・日の漁。西薩海域では、刺網でヒラメ(0.6～2.0kg)を3～20尾/隻・日の漁。延縄でメダイ(1kg)を多い船で4～5尾/日の漁。西薩南部海域では、一本釣りでメダイ(1～2kg)を4～5尾/隻・日の漁。刺網でヒラメ(1～2kg)を10～20尾/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網で多い船でメダイ(1.5～2.0kg)を10～15尾/日、チダイ(70～800g)を65kg/日、ヒラメ(1～2kg)を3～5尾/日の漁。屋久島海域では、一本釣りでゴマサバ(500～800g)を20尾/隻・日、メダイ(4～6kg)を10～15尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの日帰り操業でソデカ(胴体のみ8kg前後)を6～8ハイ/隻の漁。延縄の日帰り操業でナンヨウキンメ(2kg)を25～30kg/隻、ムツ(1.5kg)を25～30kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月20日付「海況日報」による。
 黒潮流軸は、海上保安庁2月20日発行「海洋通報平成25年31号」による。